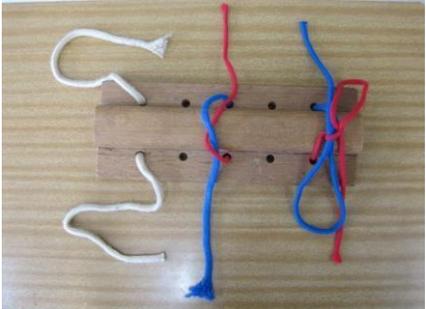
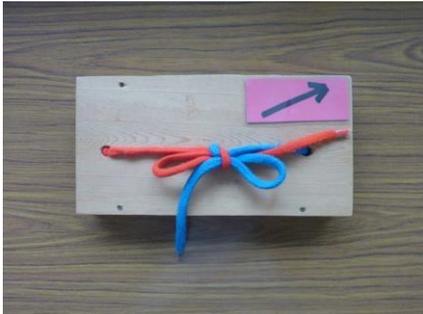


# 教材リスト（その他）No.1 【01～04】

教材・教具	教科・要素	区分	活用の仕方
<p>ころころロード （小学部） 【01】</p> 	<p>手指視覚</p>	<p>環境の把握 身体の動き</p>	<p>おもちゃの車が道の上を右へ左へ勢いよく転がり下りていきます。また家の下の青いところを真上から真下へと一気に下りていきます。その動きがおもしろくて、子どもたちは何度も何度も試みます。小さなおもちゃをつまんで正確に置くという活動の繰り返しにより手指機能にアプローチできます。</p>
<p>クロコダイルデンティスト （高等部） 【02】</p> 	<p>手指数</p>	<p>身体の動き 環境の把握</p>	<p>ワニの歯を一本ずつ押していくと、ワニが急に噛みつきます。どの歯を押すと、ワニがかみつくのか分からないスリルが面白い教材です。歯の幅は1cm程度なので、注意して指先を使うことになります。また「右から〇番目を押して」と伝えながら教えていくことにより、数の勉強ができます。</p>
<p>コイン入れ（空き缶） （中学部） 【03】</p> 	<p>手指</p>	<p>環境の把握 身体の動き</p>	<p>ふたがビニール製の空き缶で作ったもので、コインを1個ずつ穴に入れていきます。穴の向きを縦、横、斜めに変えて学習します。 （券売機で硬貨を投入する際の初歩の練習ができます）</p>
<p>ドライバーのねじしめ （小学部） 【04】</p> 	<p>形手指言葉</p>	<p>環境の把握 身体の動き コミュニケーション</p>	<p>片手の親指、人差し指、中指で本体を固定しながら、もう一方の手でドライバーを回します。中指を外すとねじが落ちます。押さえながら回すという二つの動きをしないとできません。 足りない部品を要求するために「お願い」する等にも使用できます。</p>

## 教材リスト（その他）No. 2 【05～08】

教材・教具	教科・要素	区分	活用の仕方
<p>“ももじりくん”を救い出せ！ （小学部） 【05】</p> 	手指	<p>環境の把握 身体の動き コミュニケーション</p>	<p>瓶の中に閉じ込められた“ももじりくん”を助けてあげるために、瓶のふたを開けます。 物語のような演出により、子どものやる気と集中力を引き出します。</p>
<p>ひもの結び台 （高等部） 【06】</p> 	手指	身体の動き	<p>チョウチョ結びなど、ひもの結び方を練習するための教材です。左右のひもの色が違うため、どちらの紐を操作しているのかが分かりやすくなっています。またひもの長さは徐々に短くなっています。 ※違うひもへの交換が簡単にできるような作りになっています。</p>
<p>紐結び練習空き箱 （中学部） 【07】</p> 	形手指色	環境の把握 身体の動き	<p>紐結びの練習をする際に活用できます。空き箱に左右異なった色の紐を通してあるので、左右に紐の区別ができやすいです。</p>

<p>紐結び台（木製） （中学部） 【08】</p> 	<p>手指色</p>	<p>環境の把握 身体の動き</p>	<p>紐が太く左右の紐の色が異なるので左右の紐の形の区別がつきやすいです。 紐結びの練習の初歩の段階で活用できます。</p>
--	------------	------------------------	--

## 教材リスト（その他）No. 3 【09～12】

教材・教具	教科・要素	区分	活用の仕方
<p>絵本ふわふわあひる （図書室） 【09】</p> 	<p>触覚 形色</p>	<p>環境の把握</p>	<p>各ページに円、三角、正方形、長方形などの形が鮮明に描かれており、形を視覚的に認識しやすいです。目を閉じて手触りで形を把握すれば、手の感触で形を把握する学習にもなります。それぞれの形には、ふわふわ、でこぼこ、ざらざら、もこもこなど、いろいろな感触を味わえます。</p>
<p>天気記号 （中学部） 【10】</p> 	<p>形言葉</p>	<p>環境の把握 コミュニケーション</p>	<p>太陽や傘などのイラストを天気マークに使うことはよくありますが、同時に天気記号を使っているクラスがあります。</p>

<p>SST ボードゲーム “なかよしチャレンジ” (教育相談用教材庫) 【11】</p> 	<p>ソーシャルスキル</p>	<p>コミュニケーション 環境の把握</p>	<p>学校の登校～下校までを舞台とした「すごろくゲーム」で、数人で楽しみながら行えます。 マス目の指示の中で日常生活に関する質問があり、考えながらコマを進めていきます。 マス目の指示には考えることだけではなく、「早口言葉を言う」「のびをする」などの指示もあります。</p>
<p>ミラーボール (自活室) 【12】</p> 	<p>色光</p>	<p>環境の把握 心理的な安定</p>	<p>室内を暗くしてライトでミラーボールを照らすと、室内にきれいな光が映ります。リラクゼーションや行事等に便利です。ライトを工夫すると、光の形等が変わってきます。なおライトはありませんので、使用時には懐中電灯やカラーセロファンなどを用意して下さい。</p>

## 教材リスト (その他) No. 4 【13～16】

教材・教具	教科・要素	区分	活用の仕方
<p>カレンダー (中学部) 【13】</p> 	<p>数形 見通しを持つ</p>	<p>心理的な安定 環境の把握 身体の動き</p>	<p>作製時：数字カードの色塗り。模造紙に下書きしてある数字と同じ場所にカードを貼り付けます。 活用時：一か月内にある行事の写真を貼り付け、予定を把握して見通しを持たせます。</p>

<p>切り絵（折り紙・画用紙） （高等部） 【14】</p> 	<p>形手指</p>	<p>環境の把握 身の動き 心理的な安定</p>	<p>折り紙に絵を書いてハサミで切り抜き、画用紙に貼ってラミネートしたものです。動植物でも模様でも切り抜いて貼ると見事な出来栄になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが達成感を感じやすい素材です。</li> <li>・高等部では、曲が鳴っている間に切るという課題に取り組みました。</li> </ul>
<p>タイムタイマー （相談室） 【15】</p> 	<p>色時間</p>	<p>環境の把握</p>	<p>残り時間を視覚的にかつ、見通しを持って把握できるタイマーです。</p>
<p>見やすい時計 （小学部） 【16】</p> 	<p>認知</p>	<p>環境の把握</p>	<p>市販の時計の外周に分刻みの数字を書いた物を取り付けて、「何時何分」を分かりやすくしています。</p>

## 教材リスト（その他）No.5 【17～20】

教材・教具	教科・要素	区分	活用の仕方
<p>声の音量表 (中学部) 【17】</p> 	聴知覚	環境の把握 コミュニケーション	他者との会話の際に、適切な音量で話すことを促すために使用します。
<p>個人向け予定表 (中学部) 【18】</p> 	認知	環境の把握 心理的な安定	一日の予定を説明、把握させます。 文字、写真など本人の興味や特性に応じた物を使用して理解を促します。
<p>歯磨き手順表 (高等部) 【19】</p> 	視覚支援	健康の保持 身体の動き	歯の磨き方の順番が写真で表示されています。各写真の下には「1」から「10」まで番号が書かれています。子どもたちはこの手順表を見ながら、一つの箇所を「1, 2, 3, 4…」と数えながら磨きます。
<p>歯磨き手順カード (小学部) 【20】</p> 	視覚支援	健康の保持 身体の動き	カードは歯を磨く順番に並べられています。カードをめくりながら歯磨きをしていくというカードです。

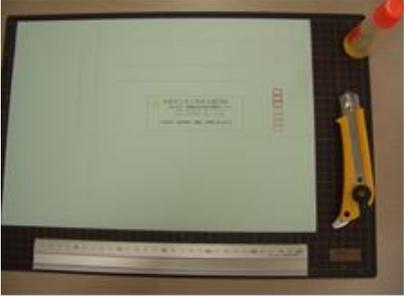
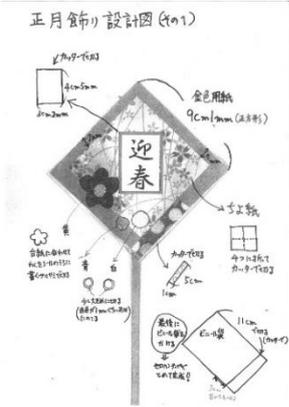
## 教材リスト（その他）No. 6 【21～24】

教材・教具	教科・要素	区分	活用の仕方
キャップアート （高等部） 【21】 	手指	身体の動き 環境の把握	ペットボトルのキャップを活用した物です。市販のボードを使用します。キャップをカチッとはめ込む際の力の入れ具合と感触で、楽しみながら取り組みます。キャップの色や模様をそろえて、アート作品として仕上げることもできます。
ソーラープロジェクター （自活室） 【22】 	色光	環境の把握 心理的な安定	室内を暗くしてソーラープロジェクターの光を天井等にあてると、きれいな光が映し出されます。専用ディスクが何枚もありますので、ディスクを入れ替えると、いろいろな光を楽しむことができます。リラクゼーション等のときに便利に使えます。
ブラックライト （自活室・B倉庫） 【23】 	色光	環境の把握 心理的な安定	室内を暗くした状態で、ブラックライトを照らすと、蛍光色の色を塗ったものが光り輝きます。ふだんのくらしでは味わうことの少ない、ファンタジックな雰囲気演出することができます。
iPad （各学部） 【24】 	視覚聴覚 手指 コミュニケーション	環境の把握 身体の動き 心理的な安定 コミュニケーション	児童生徒の知育療育に相応しい様々なアプリを活用できます。 『ドロップトーク』というアプリを利用して、コミュニケーションツールとしても活用しています。なお、200 を超えるアプリが掲載されている一覧表もあります。

## 教材リスト（その他）No. 7 【25～29】

教材・教具	教科・要素	区分	活用の仕方
<p>しろくまちゃんのホットケーキ （中学部） 【25】</p> 	<p>触覚 形色</p>	<p>環境の把握</p>	<p>ホットケーキを実際に作る際の事前学習で利用しています。 絵本を通して料理の楽しさを知り、触感でいろいろなホットケーキを楽しむことができます。</p>
<p>ボールペンの分解と復元 （高等部） 【28】</p> 	<p>手指色</p>	<p>身体の動き環境の把握</p>	<p>ボールペンの分解と組み立てを行うことで、指の巧緻性の向上を図り、色のマッチングも行うことができます。時間を計り作業時間を意識する学習にもつながります。</p>
<p>ALBUM （高等部） 【29】</p> 	<p>手指 色形</p>	<p>身体の動き環境の把握</p>	<p>穴の空いたボードに小さなピンを刺します。色、大きさを考えイラストや文字の作品ができます。小さなピンを刺すことで集中力を育て、つまむ微細運動ができます。</p>

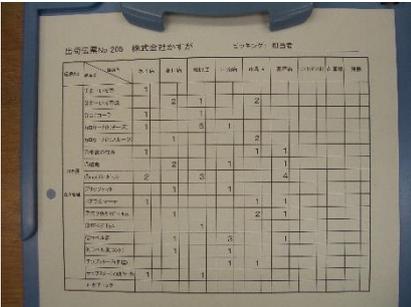
# 教材リスト（その他）No. 8 【30～31】

教材・教具	教科・要素	区分	活用の仕方
<p>封筒作りセット（用紙、カッターナイフ、カッティングマット、スチール定規） （特別教室棟） 【30】</p>  <p>完成した封筒</p> 	<p>職業 作業学習</p>	<p>身体の動き</p>	<p>①カッティングマットの上に用紙を敷き、切り取り線に合わせてスチール定規を当て、カッターナイフ等を使って用紙を切り取ります。 ②折り線に定規を当てて折り、のりしろにのり付けして完成させます。 ・正確さや手指の巧緻性を養います。完成した封筒は学校からの送付用に使っています。</p>
<p>正月飾り用園芸ピック （特別教室棟） 【31】</p>  <p>設計図↓</p> 	<p>職業 作業学習</p>	<p>身体の動き</p>	<p>この園芸ピックは、設計図等を基に手順に従って作製します。製作過程には、長さを測る、厚紙や千代紙をカッターナイフやハサミで切る、テープやノリで貼り付ける、など様々な作業工程があり、軽作業として正確さや手指の巧緻性を養うのに適しています。冬場の作業学習において、農業で栽培した花を陶芸で作った植木鉢に寄せ植えし、この園芸ピックを付けることで、作業内容の繋がりを活かした正月用鉢植えができます。</p>

## 教材リスト（その他）No. 9 【32～33】

教材・教具	教科・要素	区分	活用の仕方
<p>松ぼっくりのクリスマスツリー （特別教室棟） 【32】</p>  	<p>職業 作業学習 美術</p>	<p>身体の動き</p>	<p>松ぼっくりをラッカースプレー等で緑に着色し、木の枝を輪切りにした台座にグルーガンで取り付けます。次に松ぼっくりの一つ一つの鱗片の先にビーズを貼り付けます。貼り付け作業には、ピンセットと木工ボンドを使用します。正確さや手指の巧緻性を養うのに適した作業です。取り付ける材料やアレンジの仕方にバリエーションを持たせることで美術の作品として制作することもできます。</p>
<p>巨大空気砲（移動式発射台付き） （特別教室棟） 【33】</p>  <p>スモークマシーン</p> 	<p>理科</p>	<p>環境の把握</p>	<p>正面は90cm×90cm（口径46cm）、長さ120cmの巨大空気砲です。耐久性を持たせるために木製の枠組みに段ボール紙を取り付けています。背面部からふいご式に空気を押し出す構造にしています。大きい空気砲なので出てくる風を全身で感じることができます。 スモークマシーンで煙を入れれば、煙が輪っかになって出てくる様子がよく分かります。その他、発射口を三角形や四角形にして出てくる煙の形を実験するのも興味深いです。</p>

# 教材リスト（その他）No. 10 【34～35】

教材・教具	教科・要素	区分	活用の仕方
<p>木製スタンドハンガー （特別教室棟） 【34】</p> 	<p>職業 作業</p>	<p>身体の動き</p>	<p>間伐材など樹木を利用して製作します。主な作業内容は、木の皮むきです。幹の先端部分（120～180cm程度）を支柱とし、幹から出ている枝（5～7cm程度）をフックとしています。枝付きの幹の皮を竹べらなどを使って剥いてきます。木の乾燥具合などによっては、皮が綺麗に剥きにくいときがあるので、その時はサンドペーパーなどで仕上げます。木製の台座に取り付けて完成です。</p>
<p>ピッキング作業練習商品（練習に使う商品としてペットボトルやお菓子の空き箱を大量に集めました） 【35】</p> <p>（特別教室棟）</p>  <p>出荷伝票↓</p> 	<p>職業 数学</p>	<p>環境の把握 身体の動き</p>	<p>ピッキング作業は、注文された商品を倉庫から集めて、注文先ごとへ送るために仕分ける作業のことです。主に物流センターなどで行われる作業であり、職業教育の一環として取り組んでいます。</p> <p>内容は、①出荷伝票の各商品の注文数を計算する→②倉庫（教室）から目的の商品をカゴに集める→③商品を納品先別ごとに分ける、という作業の流れで、処理速度と正確さが要求されます。（出荷伝票は京都府立高等技術専門校のものを参考にしています）</p>